

平成 25 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495200071	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター川崎宮内		
所在地	(211-0051) 神奈川県川崎市中原区宮内1-7-12		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成25年8月2日	評価結果 市町村受理日	平成25年10月30日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ご入居者が、ひとつの「家」で暮らしているような温かみと安心を感じていただけるよう心掛けています。</p> <p>職員同士をはじめ、ご家族、提携医、地域とよく連携し、丁寧な観察ときめ細やかなケアを行うことで、認知症であっても自立した生活を送ることができるよう支援しています。2ユニットともにそれぞれ理念を持ち、信頼の小さな絆をホームから地域へつなげていこうと頑張っています。現在は、地域のボランティアの方によって庭が生まれかわり、季節の野菜が育ち、ハーブやお花もとりどりでご入居者にもとても喜ばれています。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年8月20日	評価機関 評価決定日	平成25年10月21日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、JR横須賀線または東急東横線武蔵小杉駅よりバスで10分のバス停のそばに立地している。周辺は住宅や町工場が混在する地域だが裏手に多摩川の堤防があり近くに等々力緑地などの自然が残る案外静かな環境である。 建物は木造2階建てで、内部は全面バリアフリー仕様で、手すりも完備しており安全である。全体に清掃が行届き清潔で明るい。リビングは窓が大きくて採光が良く、廊下は広くゆったりとし、照明も落ち着いている。</p> <p>【医療連携とターミナルケア】 協力医が月2回、歯科医が月2回、往診している。看護師が毎週来訪し、また24時間連絡体制を確保して健康管理に当たっており、利用者・家族に安心感を与えている。ターミナルケアについては、常時医療行為を必要とせず本人や家族が希望し、医師が判断して、また家族の協力が得られれば、看取りが可能である。この1年間に3名の方を看取った実績がある。</p> <p>【連携してきめ細やかなケアの提供】 職員のチームワークは勿論、家族、医師、看護師、地域等と連携して、本人本位の丁寧なケアが、利用者の安心と自立した生活につながるの信条を大事に支援に当たっている。庭はボランティアの協力で野菜を育てている。ハーブやひまわりなどの草花を眺めたり、リビングの水槽ではメダカを育てたり、利用者は明るく穏やかに生き生きと生活を楽しんでいる。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチケアセンター川崎宮内
ユニット名	1F 楽(らん)

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

事業所名	ニチイケアセンター川崎宮内
ユニット名	2F 楽(らく)

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是とユニットの理念を、毎朝夕唱和し、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	新しくユニット毎に理念を、職員が話合って作成し、地域との関係性を反映した。法人の社是とユニットの理念を毎日、朝夕のミーティングで唱和している。新入職員には採用時に説明している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	盆踊り、お祭り等の行事には地域の方の協力を得て参加し、また、事業所での一部行事には地域の方にも参加いただいている。散歩時にも声をかけていただいたりと、日常的につながりを感じている。	自治会に加入し盆踊りには入居者も参加して地域の人々と交流している。子供会古紙回収に協力している。毎年中学生が福祉体験学習で来訪する。傾聴、三味線、畑仕事のボランティアが来てくれる。	近隣の人々向けに見学会を予定されていますが、同様に行事や会合の機会を増やし事業所を知ってもらい理解を広めて地域とのつながりを強めることが期待されます。運営推進会議の活用が望まれます。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	こども110番への参加や、小学生、中学生の福祉関連授業への協力を行っている。リサイクル資源回収にも協力し、子供会運営資金の一助となっている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、活動状況を報告し理解を得られるように努め、いただいた意見を運営に反映できるよう心掛けている。	自治会長、副会長、中原区職員、地域包括支援センター職員、民生委員2名、入居者、家族が参加し、2か月毎に開催している。活動報告の他に防災訓練や痰の吸引支援などで意見交換をしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターには、事業所の実情やケアサービスの取組みを伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	中原区グループホーム連絡会に参加し、市、区、地域包括支援センター職員と外出支援、看取りなどの情報交換をしている。市あんしんセンターと連携し、成年後見人を家裁に申請中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「高齢者虐待防止の手引き」を基に、事業所内で研修をし、職員全体で共通の意識を持って取り組めるようにしている。	身体拘束など入居者の行動を制限しないことは、契約書等に定め、ポスターを事務所に掲示し周知している。研修会は毎年実施している。玄関は受付在席時は開錠し、内扉は開放している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待防止の手引き」を基に、事業所内で研修をし、法人としてのスローガンも掲示している。管理者や職員は互いにチェックしあえる環境作りに努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については、事業所内研修を実施し、管理者は相談機関についても周知している。今年度1件利用を計画している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	パンフレットや資料提供の他、疑問点や質問に、随時回答し、説明を行っている。契約取り交わし時は、必ず読み合わせを行っている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	全社で実施される顧客満足度調査結果等各種アンケート結果や運営推進会議や家族会等の意見を参考に、職員会議の議題として問題提起し、運営に生かして行く。	全社アンケートは反応が薄い。年2回の家族会や来訪時に意見を聞いている。雑草だらけの裏庭の整備活用、出勤職員の顔写真、氏名掲出、など家族の意見をもとに、職員会議で検討し実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、各種職員会議に出席し、各職員の意見、提案を聞き、内容を精査し、運営に反映させるよう心掛けている。	職員は身体拘束廃止、食事、教育研修、行事、環境美化の各委員会に出席し意見を述べている。全員で検討した内容を、管理者は即決している。環境整備やケアの充実、入居者の生活の質の向上に反映されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修受講対象者は必ず出席できるように調整し、社外における研修情報は常に閲覧可能にしており、受講をうながしている。管理者は一人ひとりの力量に応じた指導ができるよう心掛けている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣の同業者とは交流があり、ネットワークや相互訪問を通じて、自事業所を見直す機会としている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントで得られたニーズを基に、適切なサービスを開始できるよう、また開始後は、本人が困っていること、要望等を聴き、安心して生活できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時より、納得、理解いただけるまで説明するよう心掛け、随時対応受け付けしていることも付け加えている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自社のサービスのみに限定する事なく、本人、家族が、まず必要とする支援を見極め、必要に応じたサービスを提案できるよう情報収集を行っている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に過ごす間柄として家事を協力し合ったり、草花の手入れ、会話等支えあう関係を意識している。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	機会あるごとに近況を報告し、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族が面会を望まれない方を除いて、来訪者を制限することなく受け入れ、充実した時間を過ごせるよう、居室以外の場所も提供している。	花を持って訪ねて来る友人や知人が数人いる。居室や和室で湯茶で接待し関係継続の支援をしている。電話の取次ぎをしたり、手紙の宛名書きを手伝ったりしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに、また衝突を未然に防ぐよう心掛けている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現状では実施のない状況であるが、相談等いただいた場合、必要な対応をとりたいと思っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中での訴えや、声にならない声に耳を傾け、ケア会議において本人の望む生活の実現を検討している。	普段の生活の中で、何気ない言葉を聞き止めたり、入浴中に1対1でゆっくり話を聞いている。意向の把握が難しい方は顔色や目の力、表情、仕草などから判断している。わからないことは家族から聞いている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、関係者より可能な限り聞き取りを行い、これまでの生活歴等を把握するように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	声掛けに対する反応、ご自身の自発的行動を観察し、一人ひとりの一日の過ごし方、現有能力の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月2回程度実施しているケア会議により、職員の意見集約を行い、プランを作成し、ご家族に同意をいただくようにしている。その際、意見をいただけるよう努力している。	月2回のケア会議で出席者全員の意見を聞いてケアプランを作成している。ケアプランの作成には家族の意見も参考にしている。また、受診管理記録をもとに医師、看護師の意見も反映している。介護計画は6か月毎の変更が主だが、変化があれば都度、見直しをしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づき等を、個別に介護記録、業務日誌に記録し、朝夕の申し送りや情報共有し、実践につなげられるよう努力している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	発生するニーズに対しては、ボランティア、家族、地域、あるいは行政等と連携し、柔軟に取り組めるよう心掛けている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の自治会に事業所として加入しており、地域の祭りや盆踊り等の行事には、可能な限り参加し、今までの暮らしの継続ができるよう支援している。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診提携医による月2回の受診、週1回の訪問看護師による健康管理、歯科医の往診時に、ご本人の訴え、希望が伝わるよう、受診管理記録をつけ、情報交換している。	現在は入居者全員が月2回の協力医による往診を受けている。訪問看護は週1回健康管理で来訪し、歯科も月2回往診がある。1名が神経科を家族が付添って受診し、帰着後医療情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師による、週1回の健康チェックを受け、管理記録に確認事項を記入し、その意見を、日常の対応や往診時の確認の参考としている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先へは、提携往診医から紹介状を発行している。また、日常生活に関わる情報は必要に応じて提供し、退院まで病院と情報交換や相談に努めている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化した場合における対応に係る指針」を、契約者、身元引受人と締結し、事前に対応に関する内容の確認を行っている。	家族には「重度化対応指針」を説明して、常時医療行為を要せず、医師が判断して、家族の協力があれば看取りも可能と伝えている。この1年間で3件の看取りを行った。医師、看護師と連携しデスカンファレンスを実施した。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	基本的な対応手順を、壁面に掲示しており、その手順において、不足なく対応できる体制となっている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難総合訓練を行っており、避難方法の習得をおこなっている。消防署や周辺住民の参加の依頼も実施している。	年間2回の夜間想定訓練を実施している。うち1回は消防署が立会っている。運営推進会議委員の自治会副会長が協力し、入居者も消火器訓練に参加している。食料、水は3日分を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重した言葉掛けや対応であるかは、常に管理者、職員同士で評価しあい、より適切な対応を心掛けている。	言葉使いや接遇は支店での採用時研修で実施している。その後は日常的にOJTでリーダーから、または職員同士で注意している。個人情報を含む書類は鍵のかかる書庫に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望が表現できるよう、職員から声を掛け、ご本人の意にそぐわない状況にならないよう、配慮している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活パターンは存在するが、強制せず、本人の意思や体調を尊重して生活していただけるよう配慮している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあった身だしなみやおしゃれができるよう支援している。希望により、月1回、訪問美容を受けられるよう対応している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感や栄養バランス、希望に沿った食事提供を心掛けている。無理なくできる範囲で、利用者と職員と一緒に準備や後片付けをしている。	配食業者の食材を職員と利用者で調理している。テーブル拭き、配下膳、食器洗いなどできる方が手伝っている。行事や誕生会では出前寿司、鍋もの、外食で対応している。職員は声かけや食事介助などで支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護記録及び業務日誌に一人ひとりの状況を記録、確認し、過不足のないよう、配慮している。食事形態も必要に応じて個別対応をしている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを意識して、トイレ回数の少ない場合声掛け誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄が行えるよう支援している。	排泄パターンは、介護記録に排泄状況を記録し、把握している。時間を見計らって声かけ誘導することでトイレでの自力排泄を支援している。こまめな声かけで尿取りパッドの使用が減った事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を確認し、可能な限り自力排泄が行えるよう、散歩等の運動、水分摂取、乳製品摂取を促している。また、提携医、訪看と連携して便秘への早期対応を行っている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望に沿い、午前中より対応している。入浴を好まれない方でも、週2・3回の入浴を心掛けている。見守り、介助も行う。	入浴は最低でも週2回支援している。入浴が好きな方は毎日入っている。入浴を好まれない方には声かけする職員を代え、時間をずらすなどして対応している。入浴剤を利用し、季節には菖蒲湯、ゆず湯を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や体調に応じて居室で休めるよう配慮しているが、閉じこもりにならないよう注意している。消灯時間は設定していないが、昼夜逆転にならないように配慮している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一包化された処方指示通り服薬できるように、支援している。職員は服薬シートも確認し、薬の理解を心掛けている。日々の体調確認も行い、変調時は提携医に相談、対応している。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>家事への協力、買物、生き物の飼育、趣味の活動等、一人ひとりに合わせた楽しみ事が日常的にできるよう支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ご本人の体調、天候、時間の許す限り散歩や外気浴の機会を提供している。又、ご家族との外出外泊も制限する事なく、注意点を伝えし、支援している。</p>	<p>天気の良い日は本人の体調を見ながら、近所の多摩川やお寺へ1対1で車イスの人も出かける。体調のすぐれない時は外気浴に、冬場は日光浴をする。近隣のストアに買い物に、またタクシーで遠出をすることもある。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>小遣い金は、個別に事業所で預かっており、本人の必要や希望に応じて使用できるように、支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	契約者、身元引受人の了解のもと、手紙の受け渡し、発送、電話の取次ぎを行っている。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある装飾を、利用者と職員で、共同制作したり、好まれる音楽を流す等、快い環境作りを心掛けている。	居間・食堂は採光が良く明るい、廊下の照明は落ち着いている。掃除が行届き清潔である。居間や廊下の壁には行事の写真、季節の貼り絵、習字、ぬり絵が飾られている。水槽にメダカを飼っている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中にソファや椅子を配置し、気分転換を図ったり、気の合う利用者同士で話せるよう工夫している。			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談し、使い慣れた物や馴染みの物を居室内に置くことで、本人が安心して過ごすことができる環境作りを行っている。	居室は広くゆったりとしている。ベッド、テレビ、整理タンス、机、ソファ、鏡台など使い慣れた家具を配置し、家族写真やぬいぐるみなどに囲まれて気の休まる場所となっている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入り口には表札で名前を表示、トイレ、浴室もわかりやすく表示し、混乱なく移動できるよう配慮している。			

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター川崎宮内

作成日 平成25年10月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	近隣の人々向けに見学会を予定しているが、同様に行事や会合の機会を増やし事業所を知ってもらい理解を広めて地域とのつながりを強めることが望まれる。	地域とのつながりをさらに強め、ホームへの理解を広めていく。	運営推進会議を活用すると同時に、行事等を道してお世話になっている地域のボランティアの方との交流が持てるようにする。出来れば、地域で認知症についての講演会等を開催する。	～平成26年3月31日
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。